

令和 2 年度第 2 回加東市文化財保護審議会次第

と き：令和 3 年 3 月 6 日（土）
午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで
ところ：加東市滝野公民館 2 階 和室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議内容

(1) 審議内容

- ・加東市指定文化財の答申について

(2) 報告事項

- ・令和 3 年度加東市文化財事業について

(3) そ の 他

(4) 現地視察

- ・加古川流域滝野歴史民俗資料館

4 閉 会

加東市文化財保護審議会委員名簿

氏名	職名	備考
瀧原 務 タキハラ ツトム	会長	近世史
神崎 壽福 カンザキ ナガトミ	委員	佐保神社宮司
湖内 克利 コナイ カツトシ	委員	文化財保存修理 湖内表具店代表者
中西 正和 ナカニシ マサカズ	委員	古代史 神港学園高等学校
小山 真永 コヤマ シンエイ	委員	宗教史 県立のじぎく特別支援学校
米田 豊 コメダ ユタカ	委員	民俗学 兵庫教育大学教授

(1) 審議内容

- ・加東市指定文化財について（答申）（別紙1）

(2) 報告事項

- ・令和3年度加東市文化財事業について

文化財保護対策事業

① 防火設備管理事業

朝光寺、住吉神社本殿、若宮八幡宮本殿

② 後継者育成事業

秋津百石踊、朝光寺鬼追踊、黒谷柱祭、上鴨川住吉神社神事舞

③ 加東遺産講座（別紙2）

④ 埋蔵文化財事務所移転事業（別紙3）

埋蔵文化財調査事業

資料館管理運営事業

① 歴史民俗資料館及び三草藩武家屋敷尾崎家の観覧状況について（別紙4）

② 令和3年度加東市文化財企画展（別紙5）

③ 資料館講座 「見る・触れる」文化財教室（別紙6）

④ 映像出力用大型ディスプレイ（電子黒板）設置事業（別紙7）

(3) その他

① 阿江家住宅道具蔵及び米蔵の国登録有形文化財への登録について（別紙8）

② 令和2年度ギャラリー活用事業「加東市収蔵品展」（別紙9）

令和3年 3月 6日

加東市教育委員会 様

加東市文化財保護審議会
会長 瀧原 務

加東市指定文化財について(答申)

令和2年11月27日諮問第1号の物件について、加東市文化財保護条例（平成18年加東市条例第103号）第48条の規定により下記のとおり答申します。

記

諮問のあった次の文化財については、加東市指定有形文化財に指定することが適当であると認めます。

指定する文化財の申請者、名称および員数

1 申 請 者	加東市長 安田正義
名 称	加東市明治館（旧加東郡公会堂）
員 数	1棟
番 号	65
法 量	桁行（幅）：23.64m 梁間（奥行）：17.73m

内 容

本物件は、加東市社に所在する加東市管理の社会教育施設である。加古川左岸の高位段丘面上の西端に位置し、北側に所在する佐保神社の旧参道を塞ぐかたちで敷地が形成されている。敷地は現在、漆喰塀と薬医門に囲われており、建物は敷地内の北側に東面して建てられている。

建物の来歴については、設計者は不明であるが、『加東郡誌 全』の記載から明治44年（1911）に着工し、大正元年（1912）に竣工したと考えられる。建設当時は、加東郡公会堂として使用され、加東郡全体の施策を決定する議場として機能していた。その後、大正12年（1923）に当時の郡制の廃止に伴い、地元町村に無償譲渡され、昭和29年（1954）の社町誕生後は、町立の中央公民館として管理・運営されてきた。そして、平成5年（1993）、中央公民館（現加東市社公民館）の新設後、名称を「明治館」に変更し、貸館を主体とした現行の社会教育施設として維持・運営されてきた。現在は南側に隣接して管理事務所を兼ねた建物が建てられており、渡り廊下で本物件と接続され、一体で管理・運営されている。

建物の形式・構造については、幅19.90m、奥行11.82m、入母屋造棟瓦葺で南北棟の主体部に、幅1.97mの下屋を正・側面に廻らせ、背面のみは2重に下屋（幅3.94m）を出して入側縁の廊下とする。また、正面には幅9.88m、奥行3.94m、切妻造本瓦葺の玄関部が取り付き、さらに唐破風の車寄せが突出する。主体部屋根正面には千鳥破風が張り出し、これと玄関の屋根、下屋屋根とが一体的に接続し、また千鳥破風と玄関張り出しの唐破風が正面側に連続するといった複雑な構造となっている。

外観の意匠については、主体部は丸柱上に大斗肘木を載せるのに対し、四周の下屋と玄関部は各柱上に舟肘木を載せるなど、意匠に違いを持たせている。また正面の千鳥破風には下部の径に対して極端に上部を太くした特徴的な大瓶束を配している。玄関部は腰を簾子下見板張りとし、ガラスの引き違い窓を取り付けている。また玄関車寄せの柱は角柱ながら、古代寺院建築に見られる胴張りを持たせ、木鼻は大仏様風、車寄せ正面には鎌倉時代風の板躰股を入れ、側柱を大面取りの角柱とするなど、外観の意匠は古代から中世にかけての異なる時代の様式を折衷しており、日本の伝統的建築様式への設計者の習熟が感じられる。

主体部の内部は、キングポストトラスの小屋組によって、無柱の大広間が実現している。大広間の天井は折上格天井で、さらに中列2カ所を2重に折上げ、その中央にシャンデリアを下げる。大広間の北面に床を設け、その左右には火燈窓を開いた書院と違棚を付した床脇を備える。主体部を巡る廊下については、入側通り、側柱通りとも柱を2間ごとに海老虹梁でつなぎ、空間を特徴づけている。なお、正面及び西側面の廊下外面には本来外観を構成したであろう高欄が設置されている。

本物件は、異なる時代の日本建築の様式を折衷させる技巧とともに、西洋建築の構造技術の導入によって初めて可能となる大空間を特徴とし、まさに近代和風建築の典型と

いえる。また、外観・内観ともに幾度かの修理を経つつも、当初の形式・構造がほぼ踏襲して保存されている。

なお、本物件の建設経緯や設計者は伝わっていないが、前年に竣工した中崎公会堂（旧明石郡公会堂）^{注1}とは平面・意匠・構造において酷似しており、何らかの関連性がうかがえる。

このように、本物件は加東市域で現存する最古の近代公共建築物であり、さらに、同類の物件と比して卓越した規模を有するという点^{注2}でも優れており、明治・大正期における加東市の公共建築物の変遷を考える上で非常に重要な遺構であることから、加東市指定文化財とするに適当であると考える。

注1 中崎公会堂（明石市、明治44年築）は、旧奈良県公会堂（現存せず）を範として計画され、当時奈良県で古社寺修理の技師をしていた加護谷祐太郎（明石郡伊川谷出身）が設計と監督を務めたことが分かっている。また、外観、平面構成、建具の意匠等に加東市明治館との共通部分が多数みられる。

注2 加東市内には同種類の公共建築物に属する文化財建造物として、旧社町公会堂、旧上東条町役場、東古瀬公民館（旧東古瀬公会堂）等が現存するが、いずれの物件も昭和初期の竣工であり、なおかつ、本物件と比較して小規模な建物である。

加東遺産講座 概要

趣旨

2007 年にふるさとの文化財・史跡の価値を再認識し、世界の中でのオンリーワンとして PR する「世界に一つ! 加東遺産」を選定し、現在 10 件が「加東遺産」として選定された。その選定された「加東遺産」の内容を活用し、市内外の皆様に加東市の歴史及び文化の魅力を体系的にわかりやすく知っていただくために、加東遺産講座を開催する。

募集方法

受講者の募集は、広報かとう、市ホームページ、ケーブルテレビ等を活用する。

令和 3 年度講座内容

第1回目 日 時：令和 3 年 4 月（予定）

場 所：加東市社公民館（予定）

内 容：重要文化財指定記念

「朝光寺西本尊千手観音立像—三十三間堂からの移坐を巡って—」

講 師：神戸 佳文 氏（兵庫県立歴史博物館）

定 員：50 名

第2回目 日 時：令和 3 年 8 月（予定）

場 所：加東市明治館（予定）

内 容：旧社地域の街並みを歩く

（明治館～佐保神社～社商店街の見学ツアー）（仮）

講 師：文化財係 主査 藤原 光平

定 員：50 名

第3回目 日 時：令和 4 年 1 月（予定）

場 所：加古川流域滝野歴史民俗資料館（予定）

内 容：闘竜灘と加古川の川船（仮）

講 師：文化財係 主査 藤原 光平

定 員：50 名



加東市地域交流センター（旧滝野文化会館） 文化財系移転場所平面図

令和2年度 加古川流域淹野歴史民俗資料館運営状況表

R3.1末現在

開館日数	有料(人)			無料(人)			個人			団体			個人			団体			合計(人)			観覧料(円)			
	大人	小人	大人	大人	小人	大人	大人	小人	大人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	計	月計	累計			
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109,843	0	0			
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109,843	0	0			
6月	25	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	4	109,847	400	400				
7月	25	14	2	0	0	0	3	0	0	14	5	0	0	14	5	19	109,866	1,500	1,500	1,900					
8月	25	47	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	47	0	47	109,913	4,700	4,700	6,600					
9月	24	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0	5	109,918	500	500	7,100					
10月	27	13	0	0	2	21	6	92	15	21	6	92	21	113	134	110,052	1,300	1,300	8,400						
11月	24	62	0	0	33	10	0	0	95	10	0	0	95	10	105	110,157	6,200	6,200	14,600						
12月	24	13	0	0	0	1	0	0	13	1	0	0	13	1	14	110,171	1,300	1,300	15,900						
1月	23	17	0	0	1	0	0	0	18	0	0	0	18	0	18	110,189	1,700	1,700	17,600						
2月	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,189	0	17,600				
3月	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,189	0	17,600				
計	244	175	2	0	0	36	35	6	92	211	37	6	92	217	129	346	110,189	17,600	17,600	17,600					

合計



令和2年度 三草藩武家屋敷旧尾崎家運営状況表

R3. 1未現在

R2. 4～R3. 3

月	開館日数	市内			市外			年間 累計
		大人	小人	計	大人	小人	計	
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	8	3	0	3	3	0	3	3
7月	10	8	0	8	0	0	8	11
8月	11	7	1	8	4	1	5	3
9月	10	4	2	6	4	2	6	0
10月	10	10	14	24	2	12	14	8
11月	11	22	4	26	5	0	5	17
12月	8	6	0	6	1	0	1	5
1月	8	15	0	15	10	0	10	5
2月	10	0	0	0	0	0	0	0
3月	8	0	0	0	0	0	0	0
計	94	75	21	96	29	15	44	46
							6	52
								96

合計



令和3年度 加東市文化財企画展 企画概要

企画概要：

令和3年度において、加東市栄枝に所在する神谷山禪瀧寺を特集した企画展を開催する。

神谷山禪瀧寺は、寺伝によれば、大化年中の創立と伝えられ、現在寺内には鎌倉時代以降の寺宝が多数所在しており、加東市内においても非常に歴史の古い寺院として位置づけられ、これまで調査が継続的に行われてきた。今回は、そのような禪瀧寺の歴史を市内外に紹介するとともに、寺が所在する中東条地域の文化財についても地域史の観点から資料をもとに展示・解説を行っていきたいと考える。なお、令和2年は禪瀧寺の本尊薬師如来坐像の御開帳の年となっており（新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年に延期）、法要が予定されていることから、企画展はその時期に合わせて実施することで、普段寺や文化財に関わる地元の方々に、地域の歴史に関する学術的成果を知っていただく機会を設けたい。

展覧会名 令和3年度加東市文化財企画展『神谷山禪瀧寺の歴史（仮）』

開催期間 令和3年10月23日（土）～11月3日（水） 開館日数：11日を予定

※禪瀧寺での御開帳法要は令和3年11月上旬頃の予定。展覧会終了後、法要の日前後で境内建物内にて展示を行い、参拝者に観覧していただけるようにしたい。

開館時間 9：00～17：00

休館日 10月27日（水）

会場 加東市東条公民館2階 第1研修室

入館料 無料

イベント 記念講演会 「神谷山禪瀧寺の歴史について（仮）」

講師 未定

日時 10月30日（土）

定員 50名（当日先着順）参加費無料 予約不要

会場 加東市東条公民館2階 第3研修室

ギャラリーツアー（担当職員による展示解説）

日時 10月23日（土） 13：30～15：00

参加費無料 予約不要

加古川流域滝野歴史民俗資料館講座—「見る・触れる」文化財教室— 概要

趣旨

加古川流域滝野歴史民俗資料館が所蔵している文化財を広く市民の皆様に紹介することで、資料館の利用促進を図るとともに、文化財への造詣を育んでいく。

講座は年3回程度とし、資料館の所蔵品はもとより、個人や地区より寄託された資料や、文化財係が調査・整理をおこなっている資料を随時紹介する。

募集方法

募集は、広報かとう、市ホームページ、ケーブルテレビ等を活用する。

○令和2年度実績

講座内容

第1回目　日 時：令和2年7月25日（土）10：00～11：30
 場 所：加古川流域滝野歴史民俗資料館
 内 容：常設展リニューアル記念！資料館見学ツアーチケット
 参加者：6名

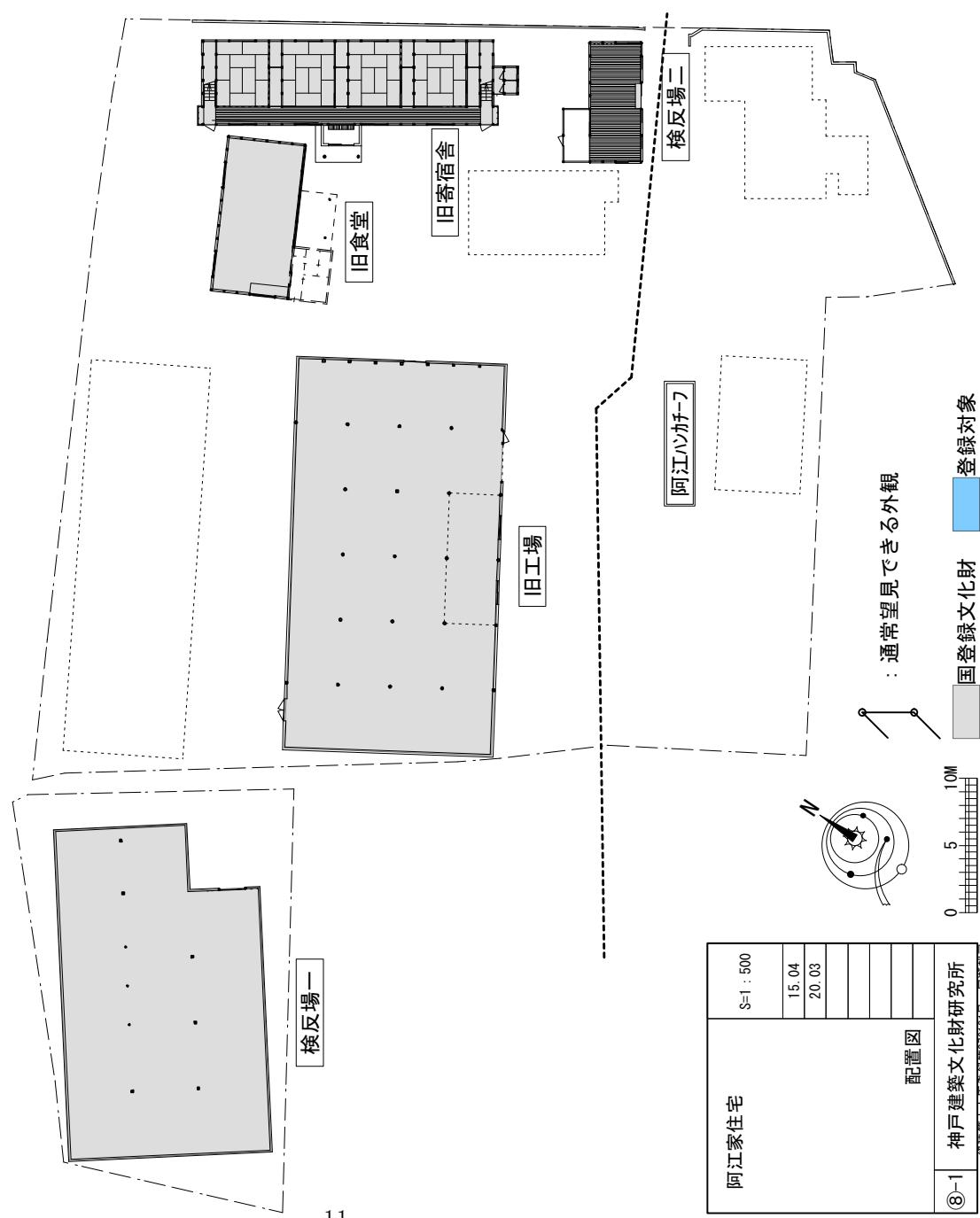
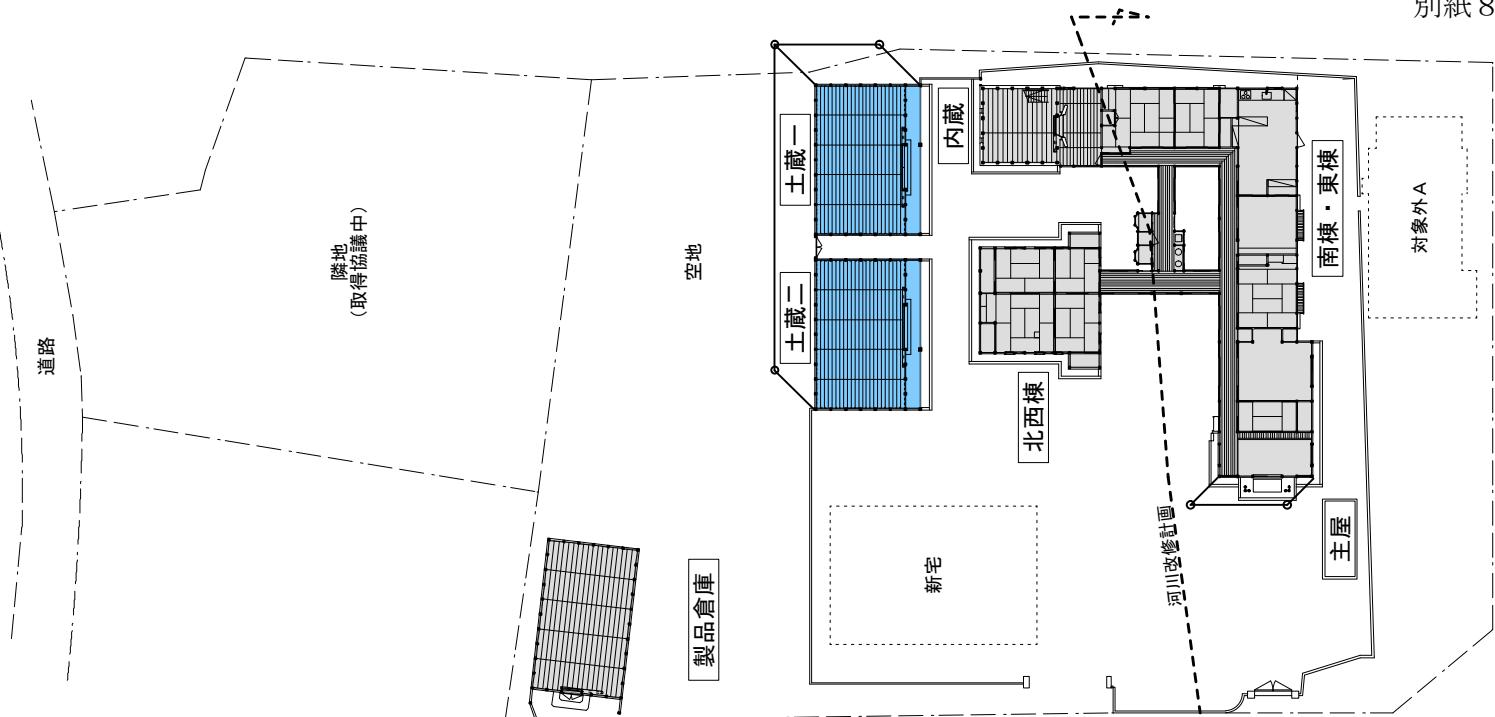
第2回目　日 時：令和3年3月27日（土）10：00～11：30
 場 所：加東市滝野図書館2階ギャラリー「伝」
 内 容：加東市文化財収蔵品展 展示解説会
 定 員：なし

○令和3年度実施予定

第1回目　日 時：令和3年7～8月頃予定
 場 所：加東市滝野図書館2階ギャラリー「伝」
 内 容：加東市文化財収蔵品展 展示解説会

第2回目　日 時：令和3年12月頃予定
 場 所：加古川流域滝野歴史民俗資料館
 内 容：未定

第3回目　日 時：令和4年2～3月頃予定
 場 所：加古川流域滝野歴史民俗資料館
 内 容：未定





1
土蔵二棟 外観(南西から見る)
土蔵一(手前)、土蔵二(奥)



2
土蔵二棟 外観(北西から見る)
土蔵二(手前)、土蔵一(奥)



3
土蔵一 外観(東から見る)
右から土蔵一・内蔵・主屋東棟が見える



4
土蔵一 正面(南西から見る)



5
土蔵一 内観(南西から見る)



6
土蔵一 内観見上げ(南西から見る)



7

土蔵一 正面入口(右側板戸を開けた状態)
外に両引分の板戸、内に腰付網戸が嵌る。



8

土蔵一 正面庇
軒桁は一丁材。



9

土蔵一 正面入口前踏石
踏石は一丁材。



10

土蔵二 正面(南東から見る)



11

土蔵二 内観(南東から見る)



12

土蔵二 内観見上げ(南東から見る)



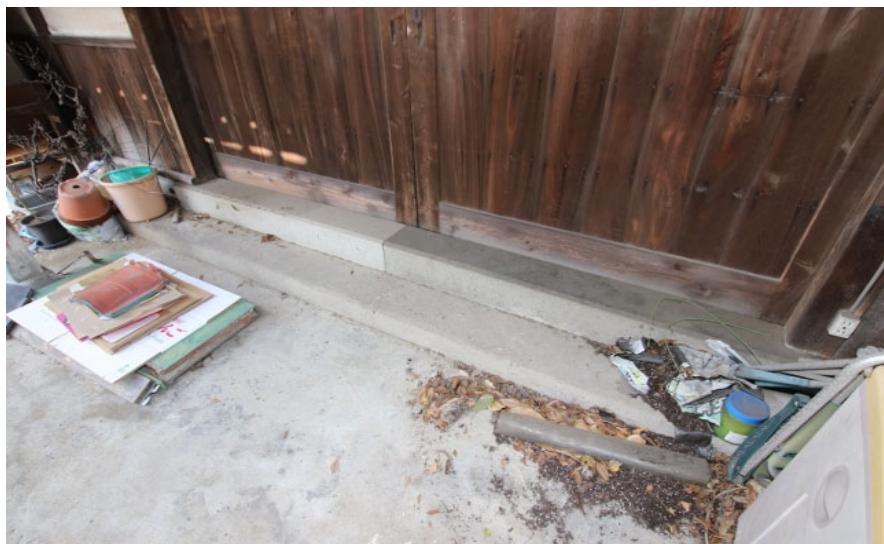
13

土蔵二 正面入口
両引分の板戸が嵌る。



14

土蔵二 正面庇
軒桁は一丁材。



15

土蔵二 正面入口前踏石
踏石は二丁材。



16
土蔵二 うだつ壁



17
製品倉庫 うだつ壁



18
主屋 うだつ壁

令和2年度ギャラリー活用事業「加東市収蔵品展」企画概要

名 称：令和2年度ギャラリー活用事業「加東市収蔵品展」

会 場：加東市滝野図書館2階ギャラリー「伝」

開催日時：令和3年3月13日（土）～3月28日（日） 10時～17時 ※開館日数延べ14日

休 館 日：令和3年3月17日（水）、24日（水）

展示内容：

- ①歴史民俗資料館新寄贈資料紹介（加東市上滝野「水月楼」旧蔵資料等）
- ②埋蔵文化財発掘調査速報（松尾・山西遺跡出土資料等）
- ③文化財資料調査成果報告（禅瀧寺持明院所蔵資料等）
- ④その他（収蔵絵画資料等）

関連事業：

○令和2年度 第2回「見る・触れる文化財」教室

テーマ 「新たにわかった加東市の歴史—新所蔵資料紹介—（収蔵品展展示解説会）」

内 容 近年新たに加東市所蔵となった歴史資料について担当職員が紹介・解説を行う。

日 時 令和3年3月27日（土）10時～11時30分

場 所 加東市滝野図書館2階ギャラリー「伝」

定 員 なし（申し込み不要）

広 報：

案内用チラシ（A4片面モノクロ）を作成し、公民館・図書館等の各施設に配架。

市ホームページ、ケーブルテレビ文字放送等に案内を掲載。各報道媒体に情報提供（秘書室経由）。